平成２０年２月１５日

平成１９年度病害虫発生予報第１１号

長崎県病害虫防除所長

向こう１か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病**（防除情報第１５号）** 灰色かび病 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや多 並 多 やや少 やや少 やや多	やや多 並 多 やや少 やや少 やや多
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類	やや多 並 並	やや多 並 並
たまねぎ	白色疫病 ネギアザミウマ	並 並	並 並
いちご (本圃)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類**（防除情報第１６号）**	やや少 並 並 並	やや少 並 並 やや多
茶	カンザワハダニ	やや少	やや少

【発生予報】　　　　本文の（　）内は平年値

きゅうり

１．べと病

（１）予報内容

発生程度　　やや多

（２）予報の根拠

２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、発病葉率は７.８％（５.０％）、発生圃場率５８.３％（３９.５％）であった。

（３）防除上注意すべき事項

ア　病勢が進行すると防除困難になるため、早期発見・早期防除に努める。

イ　薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

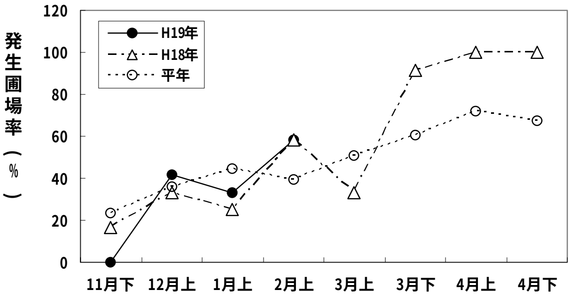

図　きゅうり べと病発生圃場率の推移

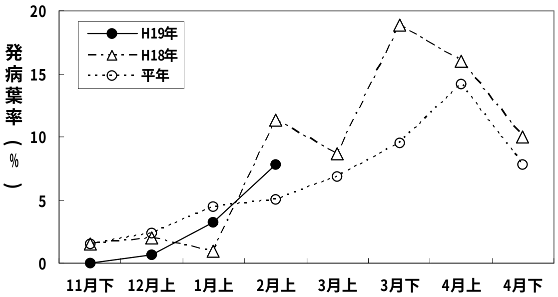

図　きゅうり べと病発病葉率の推移

２．うどんこ病
（１）予報内容
　　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、発病葉率は３．３％（５．３％）、発生圃場率６６．７％（５３．１％）であった。

３．褐斑病
平成２０年２月１５日付病害虫発生予察防除情報第１５号による

４．灰色かび病
（１）予報内容
　　発生程度　　やや少
（２）予報の根拠
　　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、発生を認めなかった（発病果率０．１％、発生圃場率１３．９％）。

５．ミナミキイロアザミウマ
（１）予報内容
　　発生程度　　やや少
（２）予報の根拠
　　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、寄生葉率は０．４％（０．７％）、発生圃場率は８．３％（１６．４％）であった。

６．コナジラミ類
（１）予報内容
　　発生程度　　やや多
（２）予報の根拠
　　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、寄生葉率は２．６％（１．９％）、発生圃場率は２５．０％（２４．２％）であった。
（３）防除上注意すべき事項
　ア　タバココナジラミはキュウリ退緑黄化病（仮称、平成２０年２月１５日付病害虫発生予察特殊報第１号を参照）の発生への関与が明らかになっているほか、密度が高くなるとすす病の原因となるので、発生初期に防除する。
　イ　タバココナジラミは強い薬剤抵抗性を持つので、薬剤の選定にあたっては十分留意する（平成１９年１１月１６日付病害虫発生予察防除情報第１３号を参照）。

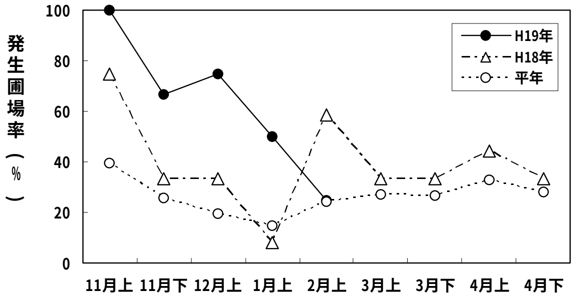

図　きゅうり コナジラミ類 発生圃場率の推移

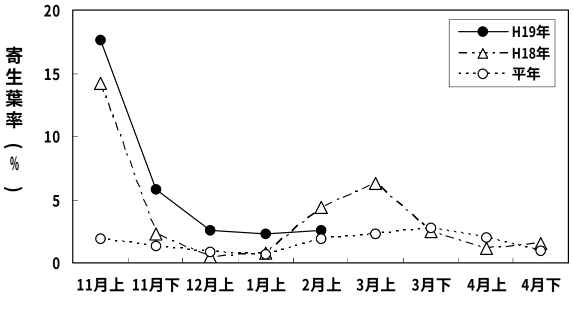

図　きゅうり コナジラミ類 寄生葉率の推移

トマト

１．黄化葉巻病
（１）予報内容
　　発生程度　　やや多

（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査(１２筆)の結果、発病株率は０．６％(前年０．１％、前々年０．４％)、発生圃場率は２５．０％（前年２５．０％、前々年１６．７％）であった。
（３）防除上注意すべき事項
　コナジラミの防除を徹底し、密度を限りなくゼロにする。また、発病株の抜き取りおよび適正処分を徹底する。

２．灰色かび病
（１）予報内容
　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、発病果率は０．０％（０．１％)、発生圃場率は８．３％（１１．５％）であった。

３．コナジラミ類
（１）予報内容
　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（１２筆）の結果、寄生葉率は０．７％（０．８％)、発生圃場率は２５．０％（１３．４％）であった。

たまねぎ

１．白色疫病
（１）予報内容
　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（１５筆）の結果、発病株率は０．７％（０．０％)、発生圃場率は６．７％（１．９％）であった。

２．ネギアザミウマ
（１）予報内容
　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（１５筆）の結果、寄生株率は１４．１％（１８．５％)、発生圃場率は、６６．７％（６４．０％）であった。

いちご

１．うどんこ病
（１）予報内容
　発生程度　　やや少
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（２７筆）の結果、葉では発病株率は０．１％（０．６％)、発生圃場率３．７％（１１．３％)、果実での発生は見られなかった（発病果率０．１％、発生圃場率６．２％)。

２．灰色かび病
（１）予報内容
　発生程度　　並
（２）予報の根拠
　２月上旬の巡回調査（２７筆）の結果、発病果率は０．１％（０．１％)、発生圃場率は

１４．８％（１４．５％）であった。

３．アブラムシ類

（１）予報内容

発生程度　　並

（２）予報の根拠

２月上旬の巡回調査（２７筆）の結果、寄生株率は１．６％（１．３％）、発生圃場率は１４．８％（９．６％）であった。

４．ハダニ類

平成２０年２月１５日付病害虫発生予察防除情報第１６号による。

茶

１．カンザワハダニ

（１）予報内容

発生程度　　やや少

（２）予報の根拠

２月上旬の巡回調査（１６筆）の結果、発生を確認しなかった（前年２月下旬　寄生葉率１．０％　発生圃場率３５％）、（３月上旬平年値　寄生葉率０．６％　発生圃場率２１．１％）。